

自己評価報告書

令和6年度 常盤小学校 自己評価報告書

学校（園）名： 常盤小学校 所在地：中央区日本橋本石町4-4-26

校（園）長名： 浮津 健史

児童（生徒）数 306 学級数 12 教員数 20 職員数 31

I 保護者向けアンケート結果（回答数 151名）

1 重点目標について

◆1 基礎学力の定着

1① 児童は、継続的に読書に親しんでいる

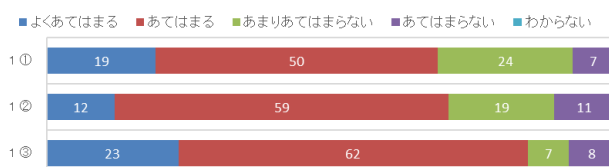
1② 児童は英語をつかって他者との関わりができています。

1③ 地域の歴史や伝統文化についての

理解を深め、本との違いについて深める

ことができている。

重点目標

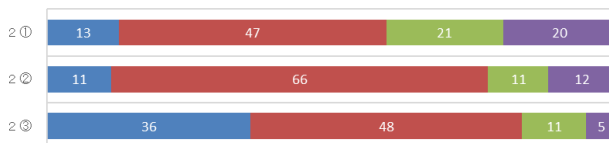


◆2 心豊かな児童を育てる

2① 児童は、先生に悩みごとについて話しやすいと感じている。

2② 児童は、立場の違う他者を尊重できている。

2③ 児童は、学校が楽しいと感じている。

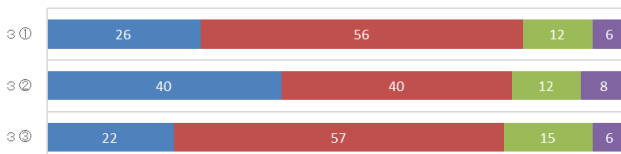


◆3 健康で丈夫な体をつくる

3① 児童は、めあてをもって運動に取り組み、目標を達成していると感じている。

3② 児童は、給食を残さず食べている。

3③ 学校は児童の健康・体力の増進に努めている。



【考 察】

・重点目標

① 昨年度は、どの項目も「わからない」の割合が多かったが、今年度は「わからない。」という項目が0になった。これは、学校側からの情報発信やお便りやホームページ・保護者会等で教育活動について具体的に説明をする等、情報発信をしたことの成果だと考える。

② どの項目も「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせると7～8割である。各項目の課題を分析し、改善することで肯定的な評価が8～9割になるよう努める。

③ 「児童は先生に悩みごとについて話しやすいと感じているか。」という項目は、「よくあてはまる」が13%「あてはまる」が47%と肯定的な評価が、他の項目よりも低い。また「あてはまらない」が、20%と多い。これは大きな課題である。各学級ごとに児童のアンケート結果も含めどのように課題があり、どのようにすれば話しやすいと感じるのか等児童に補足アンケートを行い、分析・改善をする。また、学校は受容的な態度を心がけ、一人一人に温かく接するとともに、保護者の方にも学校での様子を今まで以上に伝えていく。

2 全体の評価について

- ① 学校は学習内容がわかりやすく楽しい授業をしている。
- ② 学校は児童に基礎学力が身に付くように教えている。
- ③ 学校は通知表等を通して児童の学力を適切に評価している。
- ④ 学校は児童の努力を認めたり励ましたりして、温かく接している。

- ⑤ 児童は明るく生き生きと学校生活を送っている。
- ⑥ 学校は児童の健康・体力の増進に努めている。
- ⑦ 学校は道徳教育に力をそそぎ、児童に思いやりの心や規範意識を育てている。
- ⑧ 学校はボランティア活動や清掃活動などの様々な奉仕活動を行っている。

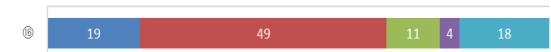
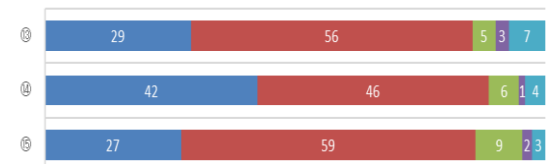
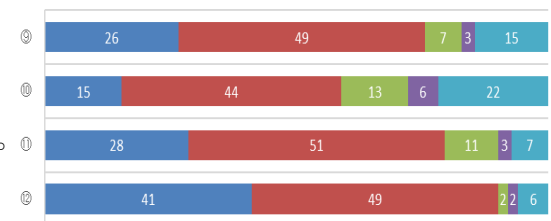
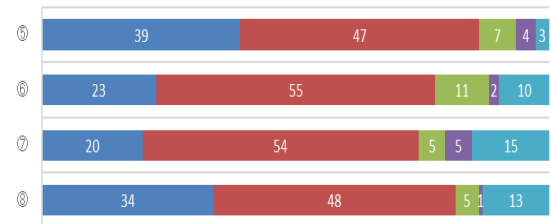
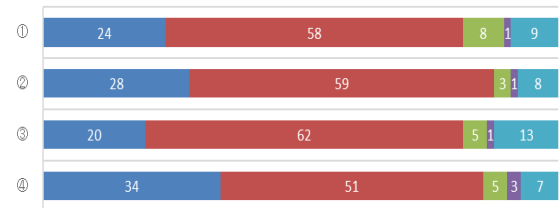
- ⑨ 学校は教育活動において人権を尊重する姿勢で子どもの指導にあたっている。
- ⑩ 学校は児童の問題や悩み、トラブルなどを見逃さずに相談にのったり指導したりしている。
- ⑪ 学校は保護者にとって連絡や相談がしやすく、適切に対応している。
- ⑫ 学校は保護者や地域の人が積極的に教育活動にかかわれるようにしている。

- ⑬ 学校は児童の安全確保や安全対策に様々な配慮をしている。
- ⑭ 学校は行事や学校公開などを通して児童の学習の様子や生活がわかるようにしている。
- ⑮ 学校は保護者に出す文章や連絡等は、わかりやすく内容も適切である。

- ⑯ 学校はコンピュータや図書室を十分活用している(各教科・国際理解・地域についての調べ学習、読書活動など)
- ⑰ 学校は地域を生かした教育活動や行事がある。
- ⑱ 保護者は学校の教育活動に積極的にかかわっている。(町探検・神田祭の学習・老舗学習・学生工房との日本橋の学習・金融授業など)

全体の評価

■よくあてはまる ■あてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない ■わからない



【考 察】

- ① 「わからない」という回答がどの項目にもある。学校の説明不足の部分であるため、今後は、保護者会等で具体的に十分説明をしたり、情報発信・公開をする機会を増やしたりしていく必要がある。
- ② 「学校は道徳教育に力をそそぎ、児童に思いやりの心や規範意識を育てている。」「学校はボランティア活動や清掃活動などの様々な奉仕活動を行っている。」「学校は教育活動において人権を尊重する姿勢で子どもの指導にあたっている。」について、10%以上が「わからない。」という回答になっている。今まで以上に保護者会等で具体的に説明をしたり、積極的に公開をしたり、学校だより・ホームページ等でも情報発信を頻繁に行う。
- ③ 「学校は保護者や地域の人が積極的に教育活動にかかわれるようにしている。」「学校は地域を生かした教育活動や行事がある。」については、90%以上が肯定的な回答である。
- ④ 「学校は児童の問題や悩み、トラブルなどを見逃さずに相談にのったり指導したりしている。」については、「よくあてはまる」「あてはまる」の肯定的な回答が、59%とかなり低い。これは大きな課題である危機意識をもち、児童一人一人の様子を日々丁寧に観察し、少しの変化にも敏感に気付くように努める。担任だけではなく、学校全体で児童の様子を観察し、SC、SSWとも連携し、家庭にも連絡をする。また、「わからない」という解答が22%である。今まで以上に学校から児童の様子を伝える等、家庭と情報共有をしていく必要がある。
- ⑤ 「学校はコンピュータや図書室を十分活用している。」について、「よくあてはまる」「あてはまる」という肯定的な回答は70%未満で、昨年度同様低い。また「わからない」が18%と多い。各教科でタブレットや図書室を活用し、調べ学習を行い、図書の時間も確保しているが、変化が見られないため、今まで以上に情報発信が必要。また、学校公開等でも活用していく。

Ⅱ 児童（４・５・６年生）向けアンケート結果（回答数 110 名）

児童アンケート

重点目標①

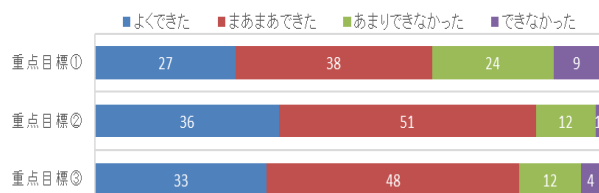
英語を使って他の人と関わっていますか

重点目標②

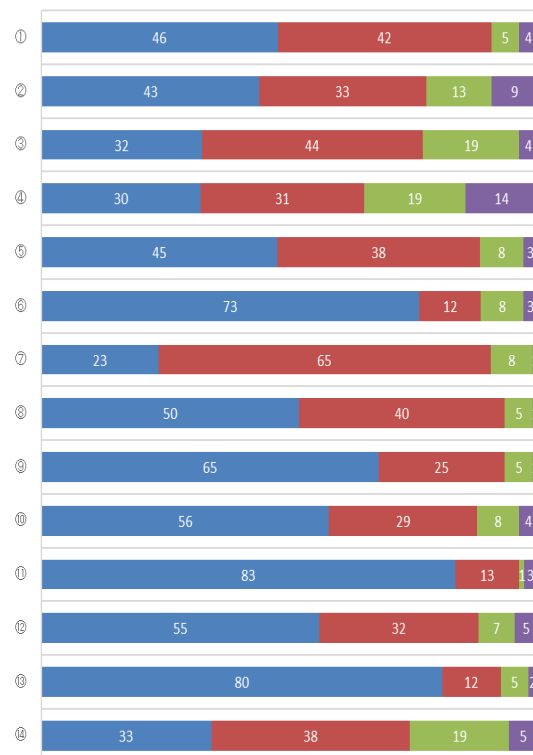
相手の立場に立って、考え行動していますか

重点目標③

めあてをもって運動をしていますか



- ① 授業の内容はよくわかりますか
- ② 学校に行くのが楽しいですか
- ③ 自分の体力づくりに取り組んでいますか
- ④ 先生は悩みなどについて話しやすいですか
- ⑤ あいさつは元気よくしていますか
- ⑥ 家で毎日学習していますか
- ⑦ 学校の約束を守っていますか
- ⑧ みんなで使うものを大切にしていますか
- ⑨ 友達と仲よく生活していますか
- ⑩ 学校の行事は楽しいですか
(運動会、学芸会など)
- ⑪ 宿泊行事で友だちと触れ合うことができましたか
(セカンドスクール、館山臨海学園、本栖移動教室)
- ⑫ 給食は残さず食べていますか
- ⑬ 朝食は食べていますか
- ⑭ 早寝・早起きをしていますか



【考 察】

- ① 保護者アンケート同様どの項目も「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせると7～8割である。各項目の課題を分析し、改善することで肯定的な評価が8～9割になるよう努める。
- ② 「英語を使って他の人と関わっていますか」については、「よくできた」「まあまあできた」という肯定的な回答が、65%と他の項目より低い。英語の時間や国際科の時間等児童は、積極的に関わっているが、児童にとっては、そのように感じていないという教員との感じ方に差がある。具体的な場を想定して質問をするとともに今まで以上に英語を使って他の人と関わる機会を設定していく。
- ③ 「先生は悩みなどについて話しやすいですか」の「よくできた」「まあまあできた」という肯定的な回答が、61%と低い。保護者アンケート同様これは大きな課題である。児童にとって、悩みなどを話しやすい先生は、どのような先生なのか。児童へのアンケートを行い、分析し、改善する。
- ④ 「授業の内容はよくわかりますか」については、「よくできた」「まあまあできた」という肯定的な回答が、88%である。今後も授業を工夫しわかりやすい授業を行い、90%以上の児童が、肯定的回答になるように努める。

* 3月末に各学校・幼稚園のホームページで公表していきます。